

賃金構造基本調査の項目別一覧表（案）

事業所項目				～2019年		2020年～		匿名データ		
項目名	No	区分等	条件等	項目名	区分等	匿名化の方法			備考	
都道府県番号		47区分		都道府県番号	47区分	▲	・県単位での地域分け ・全国のみ	★地域無し(全国のみ) (※現時点では、2地域)	◆県単位で調査される (調査票上は市区町村情報なし) ◆都市圏としての地域としては、県単位での設定は粗い	
事業所一連番号				事業所一連番号		×		★提供しない	◆同一事業所の特定につながる	
(事業所の)産業分類番号		大・中・小		産業分類番号		▲	(・情報の削除)	★大分類で提供 (“C”は削除)	◆中分類では、事業所が少なく、リサンプリング後、特定につながる ◆「C:鉱業、採石業、砂利採取業」については、当該レコード削除して提供 ・該当するレコードが少ないこと ・他の産業と統合した場合、統合された産業の特性を歪めてしまうこと	
企業全体の常用労働者数	(4)	8区分		企業全体の常用労働者数	8区分	▲	グルーピング	4区分、5区分		
				記入労働者数		×		★提供しない	(事業所内のサンプル数)	
				常用雇用者 正社員・正職員(男女計)		×	人単位	★提供しない		
				正社員・正職員以外(男女計)		×	人単位	★提供しない		
				臨時労働者		×	人単位	★提供しない		
新規学卒者の初任給額及び採用人員	(5)		民営事業所のみ							
初任給額(学歴別男女別)	(5)①	百円単位				×		★提供しない	◆計算方法を提示 (個人項目から算出)	
採用人員(学歴別男女別)	(5)①	人単位				×		★提供しない		
初任給額の確定状況	(5)②	2区分	民営事業所のみ			×		★提供しない	◆初任給額を提供しないため	
【加工】復元倍率				【加工】復元倍率		▲	そのままは不可	★集計結果のものを調整して、提供する	◆リサンプリング方法による	
【加工】民・公区分		2区分		【加工】民・公区分	2区分	▲	情報の削除(レコード削除)	★民営のみ提供	◆調査数が少ない ◆産業が限定されている	

個人項目	～2019年						2020年～					匿名データ			
	No		区分等	記入対象(調査対象)			No	区分等	記入対象(調査対象)			匿名化の方法		備考	
	～2018	2019		雇用形態	就業形態	その他			雇用形態	就業形態	その他				
一連番号	(1)	(1)					(1)					×		★提供しない	(提供前に再付与)
性別	(3)	(2)	2区分				(2)	2区分				○			■回収1(3) 1ページ →度数は問題なし
雇用形態	(4)	(3)	5区分				(3)	5区分				○			■回収1(4) 1ページ →度数は問題なし
就業形態	(5)	(4)	2区分	常用			(4)	2区分	常用			○			■回収1(5) 2ページ →度数は問題なし
最終学歴	(6)	(5)	4区分	常用	一般		(5)	9区分	常用			○		★このまま提供	■回収1(6) 2ページ →度数では問題なし ◆削除、他の区分とのグルーピングを行うと、この統計調査の目的から有用性に大きな問題を生じる ◆提供する地域区分が少なく、外観からでは識別できない (←中卒が少ない)
新規学卒者							(6)	—	常用	一般	本年3月卒業者	—	(対象外)		◆令和2年以降の調査項目のため、対象外
年齢	(7)	(6)	各歳				(7)	各歳				▲	・グルーピング ・トップコーディング	★5歳階級 (ただし、24歳以下は、労働力調査の区分(15～17歳、18・19歳、20・21歳、22～24歳)で提供) ★75歳以上	■回収1(7) 3～4ページ (グルーピング 4ページ) ◆他調査と整合性をとり、5歳階級区分とする。 ◆24歳以下は、学校卒業の年齢の有用性のため細分化する。 (15～17歳の構成割合は0.47%、他の区分は0.5%以上) ◆75歳以上をトップコーディング (構成割合は0.53%)
勤続年数	(8)	(7)	年単位	常用			(8)	年単位	常用			▲	・トップコーディング	★一般労働者:44年以上 短時間労働者:43年以上	■回収1(8)ー1 5ページ →1:一般労働者では、40年前後から度数が少ない ■回収1(8)ー2 6ページ →2:短時間労働者では、20年前後から度数が少ない ◆一般労働者は44年以上、短時間労働者:43年以上をトップコーディング (構成割合は、 一般労働者:0.57% 短時間労働者:0.58%) ◆度数及び年齢のトップコーディングをあわせて考慮しても問題ない。 (例:年齢において、75歳以上をトップコーディングする場合は、75ー15＝50年以下)
労働者の種類	(9)	(8)	2区分	常用		産業C,D,E,H481 & 事業所規模10人以上						×		★提供しない	◆小分類H481が特定される

個人項目	～2019年						2020年～					匿名データ		
	No		区分等	記入対象(調査対象)			No	区分等	記入対象(調査対象)			匿名化の方法		備考
	～2018	2019		雇用形態	就業形態	その他			雇用形態	就業形態	その他			
役職番号	(10)	(9)	5区分	常用		企業規模100人以上	(9)	5区分	常用		事業所規模10人以上	▲	・情報の削除	★短時間労働者については、提供しない
職種番号	(11)	(10)	129区分			役職該当者以外	(10)	144区分				▲	・グループピング	★7区分
経験年数	(12)	(11)	5区分	常用		役職該当者以外	(11)	5区分	常用		事業所規模10人以上	○		★そのまま提供
実労働日数	(13)	(12)	日単位				(12)	日単位				▲	・ボトムコーディング ・トップコーディング	★一般労働者:13日以下 短時間労働者:なし ★28日以上 (一般労働者、短時間労働者ともに)

(■回収1(10)－1 7ページ
→1:総数では問題なし)
■回収1(10)－2 8ページ
→2:一般労働者では度数は問題なし(性別とのクロスは必要)
■回収1(10)－3 9ページ
→3:短時間労働者は、度数が全国でも少ないため、提供しない

■回収1(11)－1～3
10～15ページ
→調査の分類では、度数が少なすぎる分類がある。
◆日本標準職業分類とは大きく異なり、調査独自のものとなっている。
◆大多数を占めると思われる事務職や営業職については、符号はない。
◆産業(大分類)とのクロス表(回収8)
→度数が10人未満の場合は、事業所(企業)が特定されないか確認する。
(⇒特定される場合は削除)

■回収1(12)－1～3
16～18ページ
→度数は問題なし

(■回収1(13)－1～3 19ページ
→1:総数では問題なし)
■回収1(13)－2 20ページ
→2:一般労働者では、17日以下及び28日以上で度数が少ない
■回収1(13)－3 21ページ
→3:短時間労働者では、27日以上で度数が少ない
◆ボトムコーディングは、一般労働者のみ、13日をしきい値(0日の0.41%を除く)
◆トップコーディングは、一般労働者及び短時間労働者ともに、28日をしきい値

※外観からでは識別できない
(ボトムコーディングは不要、トップコーディングは、しきい値は30日)

個人項目	～2019年						2020年～					匿名データ		
	No		区分等	記入対象(調査対象)			No	区分等	記入対象(調査対象)			匿名化の方法		備考
	～2018	2019		雇用形態	就業形態	その他			雇用形態	就業形態	その他			
所定内実労働時間数	(14)	(13)	時間単位				(13)	時間単位				▲	・ボトムコーディング ・トップコーディング	★一般労働者:101時間以下 短時間労働者:なし ★一般労働者:215時間以上 短時間労働者:176時間以上 ◆ボトムコーディングは、一般労働者のみ、101時間をしきい値 (7.75時間×13日＝100.75時間又は累積度数割合の34時間のうち、大きい時間) ◆トップコーディングは、一般労働者及び短時間労働者ともに、「実労働日数」に合わせる (7.75時間×28日＝217時間又は累積度数割合の176時間のうち、小さい時間) (⇒実労働日数と整合性をとる必要がある)
超過実労働時間数	(15)	(14)	時間単位				(14)	時間単位				▲	・トップコーディング	■回収1(15)ー1 28～29ページ →1:一般労働者では、1時間ごとでは全般で度数が少ない ■回収1(15)ー2 30ページ →2:短時間労働者では0時間がほとんどである(84%以上) ◆トップコーディングは、累積度数割合から、しきい値は ・一般労働者は、83時間 ・短時間労働者は、40時間
きまって支給する現金給与額	(16)	(15)	百円単位				(15)	円単位				▲	・トップコーディング	■回収2ー1 1ページ →1:一般労働者 ■回収2ー2 1ページ →2:短時間労働者 ◆トップコーディングは、累積度数割合から、しきい値は ・一般労働者は、96万円 ・短時間労働者は、37万円
超過労働給与額	(17)	(16)	百円単位				(16)	円単位				▲	・トップコーディング	■回収2ー1 2ページ →1:一般労働者 ■回収2ー2 2ページ →2:短時間労働者 ◆トップコーディングは、累積度数割合から、しきい値は ・一般労働者は、20万円 ・短時間労働者は、5万円

個人項目		～2019年					2020年～					匿名データ			
		No		区分等	記入対象(調査対象)			No	区分等	記入対象(調査対象)			匿名化の方法		備考
項目名		～ 2018	2019		雇用 形態	就業 形態	その他			雇用 形態	就業 形態	その他			
	通勤手当	(18)	(17)	百円単位	常用		産業E&事業所規模99人以下 産業I,K70,L,M,N,P,R&事業所 規模29人以下						×		★提供しない
	精皆勤手当	(19)	(18)	百円単位	常用		産業E&事業所規模99人以下 産業I,K70,L,M,N,P,R&事業所 規模29人以下						×		★提供しない
	家族手当	(20)	(19)	百円単位	常用		産業E&事業所規模99人以下 産業I,K70,L,M,N,P,R&事業所 規模29人以下						×		★提供しない
昨年1年間の賞与、期末手当等特別給与額		(21)	(20)	百円単位	常用			(17)	円単位	常用			▲	・トップコーディング	★一般労働者:546万円以上 短時間労働者:118万円以上
在留資格番号			(21)	28区分	常用		外国人(特別永住者等除く)	(18)	28区分	常用		外国人(特別永住者等除く)	▲	・グルーピング	★6区分